

**平成28年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	今年度の実績値 43,579

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28(上期)	H28(通期)
	来館者数(人)		34,461	47,712	45,276	44,676	45,689	20,731
貸し室稼働率(%)		56	63	65	59	58	51	54
延べ事業開催回数(回)		35	45	47	53	49	24	46
延べ事業参加者数(人)		7,472	21,733	17,799	17,507	17,357	5,995	14,947

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成26年度(2014)	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	3カ年平均
収入		使用料収入	8,706	10,276	8,700	9,227
		事業収入	10,314	8,561	7,163	8,679
		その他	17,305	16,692	12,781	15,593
		指定管理委託料	89,389	94,067	94,108	92,521
		①合計	125,714	129,596	122,752	126,021
支出	維持管理	光熱水費	13,319	12,652	12,998	12,990
		清掃等委託料	21,741	21,585	21,602	21,643
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,190	3,996	2,674	2,620
	運営	人件費	39,489	43,536	44,842	42,622
		事業等経費	39,087	32,975	30,608	34,223
		その他	6,549	9,387	6,462	7,466
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	121,375	124,131	119,186	121,564	
純収支(①-②)			4,339	5,465	3,566	4,457

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	4,661	1,861	3,461	1,861	1,980	1,978
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	86,604	98,291	125,389	117,004	111,593	118,192
	(内、指定管理委託料)	82,972	89,545	89,464	89,389	94,067	94,108
実質経費(歳出-歳入)	81,943	96,430	121,928	115,143	109,613	116,214	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	省エネ対策としてトイレの照明器具をLED化したほか、環境マネジメント研修を定期的実施し、環境に配慮した施設運営に努めた。	B	施設の老朽化が進行している中なかで、維持管理について今後、協議の必要性があるが、仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	防火管理者を配置するだけでなく、アリオ管理組合の防火管理組織の会議に毎回出席し、連携体制を強化した。	B	積極的な研修参加による職員の資質向上に努め、周辺施設との連携をも強化している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合と連携し、緊急時に備えた防火・防災体制を布いている。	B	周辺施設と連携を取りながら、適正に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	周辺住民からの要望もあり、館外に防犯カメラ2台を新たに設置し、トラブルがあった際、迅速に対応できる体制を整えた。	A	地域との連携および、防犯上のハード面においても積極的に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民と連携し地域資源を活かした創造活動を継続している。	B	仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ツイッター、インスタグラムなどSNSや、メールマガジンなどで多角的な情報発信を行っている。	B	SNSなど新しい媒体を積極的に取り込む他、事業運営に関して積極的に取り組み、知名度向上に努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	文化庁、地域創造などの補助金や助成金を積極的に獲得し、事業規模を拡張して実施した。	B	助成金等の獲得に積極的に取り組み、事業費の効率的な活用を努めた。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価
ウェブサイトを刷新し、公報ツールとして情報発信手段に利用する等、より広がった宣伝展開を行っているほか、事業運営についても、作品の上演だけでなく積極的に市内小・中・高校生へのアウトリーチ事業やワークショップ事業を行う等、助成金獲得による次世代育成を目的とした普及啓発事業を展開している。	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	「アイホールがつくる『伊丹の物語』プロジェクト」アンケートより： 「伊丹の人々のお話を、しっかりきけたような感覚があり、とてもよかった。伊丹市民になって5年ほどなので、昔の伊丹のことを聞ける人もおらず、今までの伊丹の歴史にそれほど興味を持っていなかったが、今日の公演写真を見て伊丹のことをもっと知りたいと感じた。」	平成29年度には、このプロジェクトの集大成として、伊丹の昔の写真や市民の記憶をもとに、新たな本格演劇作品を製作し公演する。また昔の農機具や古い道具が登場する子ども向け作品も上演する。これら事業を通じて伊丹市の歴史と現在に興味と愛着を持つ市民をより一層増やしていきたい。
回答者数	1,575	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	